

展示林の概要

岩村田 営林署

1	展示林の名称	N07 浅間山ヒノキ・カラマツ二段林展示林					
2	設定目的及び選定理由	カラマツを上木、ヒノキを下木の二段林で寺崎渡博士設定の間伐試験地として有名である。現存している二段林分では特に優れていて、旧学術参考保護林として管理していたが、第一次施業管計画（平成5年4月1日）で展示林に変更した。					
3	設定箇所	国有林名	浅間山	林小班	25と	植栽年月	M25 T13
	設定区域面積	9.77ha		設定年月	H5年4月		
5 設 定 箇 所 の 現 況	機能類別	森林空間利用林		施業制限内容			
	保安林種			と ₁ 7.77ha			
	自然公園			と ₂ 2.00ha			
	地況	標高	傾斜	方位	地位	土壌型	
	林況	950 m ~ 990	平	S	8~9	B I D - E	
		N		L		計	
	ha 当たり	本数	材積	本数	材積	本数	材積
		679	543	25	4	704	547
樹種・胸高直径・樹高別・本数・材積内訳							
樹種	種類	胸高直径	樹高	本数	材積	備考	
ヒノキ		18	15	488	114	昭和54年3月調	
カラマツ		50	29	96	260		
ヒノキ		22	17	583	196	H8.8	
カラマツ		59	30	96	347		
ミズキ		17	15	25	4		
計				704	547		

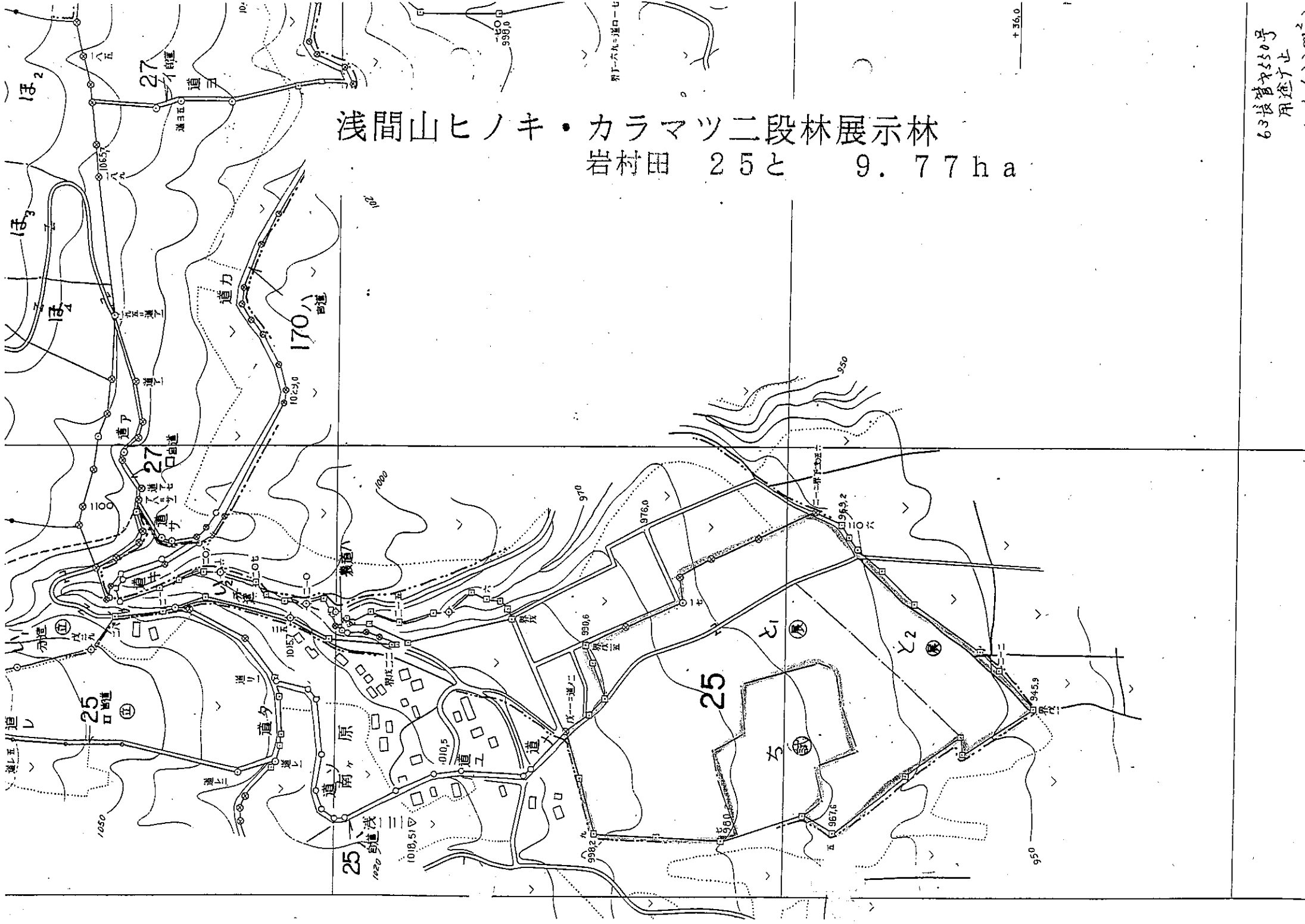
樹種	種類	胸高直径	樹高	本数	材積	備考
6 過去の施業経過						
	H 3. 3	伐前地拵	1. 00 h a	と ₂		
	4. 11	天I地拵	2. 00			
	5	下刈	1. 00			
7 その他						

記入要領

- 1 展示林の名称は国有林名または地名等の次に樹種名を記入する。
- 2 設定目的及び選定理由は市場価格の高い林木の間伐、経費節減に配慮した間伐、優良な人工林、他に模範となる天然更新地等と具体的に記入する。
- 3 設定箇所の現況は林況以外森林調査簿等より記入する。(詳細なデータは別紙を記入する)
- 4 樹種・胸高直径・樹高等内訳は現地調査野帳を集計して記入する。
- 5 過去の施業経過は植付年度、保育年度、(下刈・除伐・間伐)間伐量を林班沿革簿等より可能な範囲で記入する。
- 6 本表のとりまとめに当たって樹種、種類ごとの単位以下の端数処理は必要ない。
- 7 その他欄には設定箇所付近の林分の現況、生育状況等を記入するとともに、設定箇所の下層植生、地理的条件等を記入する。

浅間山ヒノキ・カラマツ二段林展示林

岩村田 25と 9.77 ha



63接管ヤ550号
用途ナシ
1111m2